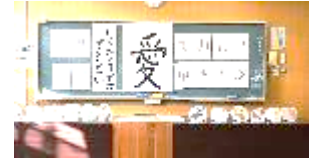


令和4年3月

むつみ愛i



六ツ美西陪附学校
校長室だより

「感謝」すること

ホームページ掲載用通信

先週木曜日、交通ボランティアの皆様をお招きして「感謝の会」を開きました。まん延防止措置が解除されず、また、身近なところに感染の危険があるため、全校児童が体育館に入ることはできませんでした。1年生から4年生は、教室でテレビ放送を見て参加しました。毎日、わたしたちのために、朝夕と危険な場所に立ってくださる皆様に感謝の気持ちを示すことができたのではないのでしょうか。

「にこにこレンジャー（読み聞かせ）」「クラブの講師の皆さん」への感謝の会もありました。来週はお米作りの学習のお手伝いをいただいた皆さんへの感謝の会も予定しています。

「感謝」とは、お世話になった相手の方にお礼の気持ちを表すことです。そして、お世話になっていると感じるためには、相手のことを正しく理解し、自分のことも理解しなければなりません。

「感謝」の心をもつためには、自分がしっかりとしなければなりません。

3月2日、体育館で「卒業を祝う会」を行いました。この日も残念ですが、全校児童が体育館に入ることができませんでした。5年生が準備、演出、進行役を務め、1年生から4年生はビデオレターを作成し、祝う会の様子は教室のテレビを見ての参加です。

6年生は、各学年の演出に心を動かしていました。その感謝の気持ちが「旅立ちの日に」の手話の合唱でした。どの6年生もしっかりとした眼差しを輝かせて、精いっぱいのお気持ちで歌ってくれました。西部小の児童は、みんな立派です。



日頃の感謝の気持ちを手紙に込めて



5年生が6年生の門出を盛りたてました



声が出せなくても「手話」で思いを伝えよう